

artscapeレビュー

ミーヨン「KUU」

2024年01月15日号

シェアする LINEで送る ポスト

会期：2023/12/01～2023/12/24

コミュニケーションギャラリーふげん社 [東京都]

ミーヨンは韓国・ソウル出身で、1991年からは東京を拠点に作家活動を継続している。これまで写真集『Alone Together』（Kaya books、2014）、『よもぎ草子——あなたはだれですか』（窓社、2014）などのほか、エッセイ集の刊行、国内外での展覧会の開催など、多面的な仕事を展開してきた。その表現行為の核心がどこにあるのか、なかなか掴みきれなかったのだが、今回のコミュニケーションギャラリーふげん社での展示を見て、腑に落ちるものがあった。

すでに8月にアルル国際写真フェスティバルで発表されたという本作は、「仏教の基本的な教理」である「空（KUU）」をテーマとしている。とはいえ、決して小難しく観念的な写真ではない。写っているのは、シャボン玉、花火、金属のドアや窓に映る光景、水面、草むらなど、ごく身近に見出すことができる被写体ばかりだ。ややブレたりボケたりしている写真もあるが、多くはストレートに写しとっている。これまでは主に黒白写真で発表してきたが、今回はカラー写真を用いてやや淡い色調でプリントしていた。そのこともあって、これまでの作品よりも、穏やかに自足した画面へのおさまり方に見える。

だが、写真を見ているうちに、ミーヨンの関心がむしろ被写体の実体よりは、それらが移ろいながらかたちを変えていこうとしている様相を捉えることにあることがわかってきた。「なにものもそれ自体では存在しない」、「すべては顕現という、たえまないプロセスの中にある」という「色即是空」の教理が、それぞれの在り方であらわれてくる刹那を写しとった写真群といえるだろう。その狙いはかなりよく実現しているのだが、まだ途中経過のように見えなくもない。いま掘り進めているという「聖地」のシリーズとも呼応させつつ、ひと回り大きな作品として完成させてほしいものだ。

ミーヨン「KUU」：https://fugensha.jp/events/231201miyeon/

2023/12/09 (土) (飯沢耕太郎)

2024年01月15日号の artscapeレビュー

- ・新国立劇場演劇研究所第17期生公演『君は即ち春を吸ひこんだのだ』
- ・Afternote 山口市 映画館の歴史
- ・ももちの世界 #9 『皇帝X』
- ・「写された外地」 吉田謙吉・名取洋之助・鈴木八郎・桑原甲子雄・林謙一・赤羽末吉（JCIIフォトサロン）
- ・ミーヨン「KUU」
- ・梅田哲也展 wait this is my favorite part 待ってここ好きなとこなんだ（1期）
- ・酒航太「山林的」
- ・小松浩子「Channeled Drawing」
- ・劇団不勞社『MUMBLE—モグモグ・モゴモゴ—』
- ・上野アーティストプロジェクト2023 いのちをうつす 一菌類、植物、動物、人間
- ・中村千鶴子「冬のスケッチ」
- ・谷澤紗和子「矯（た）めを解（ほく）す」
- ・うつゆみこ「あたま きま まらっきー」
- ・スモールワールズ
- ・HAIBARA Art & Design 和紙がおりなす日本の美
- ・世界のブックデザイン 2022-23
- ・ブダペストの建築と都市
- ・蛭川実花展 Eternity in a Moment 瞬きの中の永遠
- ・ブダペストの市民公園
- ・イスタンブール空港と日帰りツアー
- ・ヴィム・ヴェンダース『PERFECT DAYS』
- ・清水裕貴『岸』
- ・道先潤「a Breath」
- ・「世界のごちそう」展
- ・青磁—世界を魅了したやきもの
- ・ピョトル・フヤク「LOOK」
- ・カタログ&ブックス | 2024年1月15日号 [近刊編]

ジャンルで見る

- ・美術
- ・写真
- ・建築
- ・パフォーマンス
- ・デザイン
- ・映像
- ・書籍・Webサイト
- ・その他

著者で見る

- ・飯沢耕太郎
- ・五十嵐太郎
- ・伊村靖子
- ・きりとりめでる
- ・杉江あこ
- ・高嶋慈
- ・星野太
- ・村田真
- ・山崎健太
- ・artscape編集部

◎ artscapeレビューのバックナンバーへ